

| 評価項目 | 領域 | 中期目標 | 短期目標 | 成果・取組指標 | 自己評価 | | | 外部評価 | | 改善策 |
|------------------------------------|--------------|--|---|--|--|-------------|--------------------|---|-------------------------------------|--|
| | | | | | 達成状況 | 資料 | 評価 | 考察 | 評価 | |
| ① 教育課程 ・ 学 習 指 導 | 教育課程の編成・実施 | 本校の課題を的確に把握し、その解決を図るため、適切な教育課程を編成・実施するよう努める。 | 本校の課題を明確にし、教育課程に具体的な改善策を盛り込む。 | 自己点検実施計画を立てる。 | 学期末に全教職員にアンケートを実施して課題を把握し改善に努めた。 | p 4 | B | ・より一層改善に努めてほしい。 | B | 全教職員対象のアンケートの項目について見直しをして、より一層の改善に努める |
| | | 教育課程の編成・実施にあたり、全教職員が自己目標を持って取り組む。 | 全職員が、学校経営に参画することを意図した自己目標を設定する。 | 教員評価システムによる自己目標への取り組みをスケジュール化する。 | 教員評価システムによる自己目標の設定への取り組みが不十分であった。 | | C | ・スケジュール化したように実践していったほしい。 | C | 年度当初、教員評価システムの自己目標を設定する際に、学校経営に参画することを意図した目標を設定するように徹底する。 |
| | 確かな学力 | 「確かな学力」の形成を目指す。 | 学力調査の結果を分析し、学力向上に活かす手だてを明らかにする。 | 学力調査の結果を分析し、課題や目標を明らかにする。 | 研究職員会で、学力調査結果を分析し、課題や目標に対する解決法を明らかにした。 | p 3 | A | ・確かな学力の形成に向けて、これからも取り組んでほしい。 | B | 教職員が学力向上に向けて、現状を十分に把握、共通理解を図ることで、改善策を話し合い、一致して学力向上を図っていききたい。 |
| | | 生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を目指す。 | 個別指導やグループ指導に力を入れる。 補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導に力を入れる。 | 個別指導やグループ別指導について、指導計画を立てる。 補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導について、指導計画を立てる。 | 少人数授業等の授業で、指導計画を立て、実施した。 補充的な発展的な学習を取り入れた指導について、指導計画を立てた。 | P14 ~16 | B B | | | |
| | ふるさと教育 | 地域の「ひと・もの・こと」を積極的に活用した教育活動を工夫する。 | 地域の人材を活かした「ふるさと教育」を展開する。 地域の教育資源を活かした単元開発を行う。 | ふるさと教育の教育実践をスケジュール化する。 | ふるさと教育の教育実践をスケジュール化した。 | p 17 ~18 | B | ・何をしているのかが、わかりにくい。スケジュール化したように実践すべきである。 | B | スケジュールにそって今後も実施するとともに、保護者地域に実践の成果を伝え、協力を得られるように努めていきたい。 |
| 学校図書館・読書活動 | 読書を好む生徒を育てる。 | 図書室利用増を目指し、読書活動の充実を図る。 | 朝読書の時間をより充実させるための計画を立てる。 | 今年度初めに、朝読書の意義や取り組み方法について共通理解を図った。 | p 19 | A | ・読書指導をより一層すすめてほしい。 | A | 今後も朝読書を通して、生徒指導や学習指導、心の教育に生かしていきたい。 | |
| ② 生徒 指 導 | 生徒指導 | 教職員の共通理解・協力体制により、社会規範を遵守する態度を育成する。 | 生徒指導体制の整備と拡充を図る。 生活習慣の基本をいくつか押さえ、重点的な指導を行う。 | 生徒指導推進のスケジュール化を図る。 | 年間指導計画や重点項目を共通認識して取り組むことができた。 | p 20 ~21 | B | ・社会規範遵守意識を一層高めてほしい。 | B | 各項目ごとの評価をもとに重点項目を定め、次年度に継続して取り組んでいきたい。 |
| | 教育相談 | 共感適正と理解に基づく生徒指導の充実を目指す。 | 教育相談態勢の整備と充実を目指す。 | 教育相談のスケジュール化を図る。 | 計画を立て実施できたが、相談時間の確保が難しかった。 | | C | ・相談時間の確保に努力すべきである。 | C | 年度当初から行事予定に組み込み、授業や他の行事に優先して行うなど時間の確保に努める。 |
| | 連携 | 生徒の社会的自己実現を支援するため、家庭・地域・関係機関との連携を深める。 | 家庭との連携を強化する。 | 生徒指導を目的とした保護者・地域との連携をスケジュール化する。 | 計画を立て実施することができた。 | | A | ・これからも家庭との連携を密にしていってほしい。 | A | 引きつづき計画的に実施していきたい。 |

| 評価項目 | 領域 | 中期目標 | 短期目標 | 成果・取組指標 | 自己評価 | | | 外部評価 | | 改善策 |
|-----------|---|---|---|---|---------------------------------------|--------|---------|----------------------------|--|-----|
| | | | | | 達成状況 | 資料 | 評価 | 考察 | 評価 | |
| ③ 進路指導 | 進路指導 | 進路指導の体制を整え、職場体験、進路相談等の取り組みを充実させる。 | 進路指導体制を充実する。 | 進路指導推進のスケジュール化を図る。 | 部分的ではあるが、3学年が共通理解のもとに指導することができた。 | p22~25 | B | ・1年生の時から、きめ細やかな進路指導をしてほしい。 | 1年生の段階から系統的に指導できるよう体制作りをした 引き続き実施していきたい。 学期ごとに期間を設定し、実施したい。 1・2年にも情報提供を定期的に行っていきたい。 資料の整備を進める。 | |
| | | | 職場体験を実施する。 | | 実施できた。 | p3 | A | ・評価できない | | |
| | | | 進路相談を充実する。 | | 実施したが、時間の確保が不十分である。 | | B | ・評価できない | | |
| | | | 進路情報の収集及び活用を積極的に行い、生徒の能力・適正等の発見、開発に資する。 | | 三学年共通の情報提供が課題である。3カ年間の系統的な進路指導が必要である。 | | B | ・評価できない | | |
| | | | 進路資料を整備する。 | | 3年中心になり、不十分である | | B | ・評価できない | | |
| | キャリア教育 | 勤労観・職業観を身につけさせるなど、主体的に進路選択する能力・態度を育成する。 | キャリア教育について、認識を深め、全校体制で取り組む方向性を明確にする。 | キャリア教育推進のスケジュール化を図る。 | 全校体制での取り組みに至っていない。 | | B | ・評価できない | ・引きつづき計画的に実施していきたい。 | |
| 連携 | 自らの進路を主体的に切り開く能力や態度を育成するため、家庭・関係機関との連携を深める。 | 家庭との連携を強化する。 | 進路指導を目的とした保護者連携をスケジュール化を図る。 | 進路説明会、面談、学年通信等を通して連携を図ったが、三年中心である。 | | B | ・評価できない | 学校体制での連携の方法を確立する。 | | |
| ④ 学校安全 | 学校安全管理 学校防災 | 学校安全計画の推進と危機管理体制の確立で安全で安心な学校の創造に努める | 毎月15日に安全点検を実施し、安全指導も行う | 学校安全計画を作成する | 作成し計画に沿ってほぼ実施できた | p26 | B | ・評価できない | 安全計画を再点検しながら、安全指導の充実と点検で改善に努める | |
| | | | 毎月安全点検を実施し改善を図る | 毎月安全点検を実施し改善を図る | 計画通り実施できた。改善も安全面等を第一に行っている | | B | ・評価できない | | |
| | | | 防災・避難訓練を実施する | 学校防災計画を作成する | 作成し計画に沿ってほぼ実施できた | | A | ・評価できない | | |
| | | | | 避難訓練を実施する | 実施できた | | A | ・評価できない | | |
| | 安全対応能力の向上 | 安全意識を高め、危機回避能力、危機対応能力の向上を目指す | 学校事故の防止、交通事故薬物乱用防止、不審者等に対する指導を徹底する | 学校事故についてのシミュレーション訓練を行う | 実施できた | p28 | B | ・評価できない | 引き続き計画的に実施する | |
| | | | 交通安全教室を実施する | 交通安全教室を実施する | 年度当初開設し実施した | | A | ・評価できない | | |
| | | | | 薬物乱用防止教室実施する | 今後実施予定(2月) | | A | ・評価できない | | |
| 連携 | 学校安全に万全を期すために、家庭・地域・関係機関との連携を深める | 警察、教育委員会、PTA、地域のSOSの家等との連携を深める | 関係機関等との連携を整える | PTAとは地区懇談会などを利用、教育委員会、警察とは定期の会やメール配信等で必要な情報交換を行っている | | B | ・評価できない | 関係機関との連携の強化を図っていく。 | | |

| 評価項目 | 領域 | 中期目標 | 短期目標 | 成果・取組指標 | 自己評価 | | | 外部評価 | | 改善策 | |
|----------|------------------|--|---------------------------------------|--|---|------------------|---------|---------|--------------------|--|---------------------|
| | | | | | 達成状況 | 資料 | 評価 | 考察 | 評価 | | |
| ⑤ 保健管理 | 学校保健 学校環境衛生 | 学校保健計画に基づいて、生徒の自己健康管理能力の向上を図る | 日常の健康観察や疾病予防等の指導を通して、生徒の自己管理能力の向上を目指す | 学校保健計画(学校環境衛生の管理状況)等の作成及び実施について、スケジュール化を図る | 年間計画を立て計画通り実施することができた。状況に応じて生徒達へ早めに疾病予防の啓発をするように心がけた。 | p29 ~30 | B | ・評価できない | | 実施計画に従って計画的に進めていく。 | |
| | | | 健康診断を効果的に実施する | 健康診断の事前指導・事後処置を含めて実施計画を立てる | 計画通りにできた。事務処理が終了していない生徒がいるので引き続き連絡をとっていききたい。 | | B | ・評価できない | | 実施計画に従って計画的に進めていく。 | |
| | 心のケア 健康相談 | 心のケアや健康相談を充実する | 生徒達の、心や体の健康相談ニーズに応える | 心と体の相談窓口を開き、生徒に啓発する | 啓発はできたが、相談は固定した生徒のみになりがちだった。もっと活用してもらえるように呼びかけたい | | B | ・評価できない | | 健康相談やスクールカウンセラーの来校日等の呼びかけを積極的に行いたい。 | |
| | 連携 | 生徒の健康管理に万全を期すため、家庭や地域の保健関係との連携を深める | 学校医・歯科医・薬剤師との連絡体制を整える | 学校医・歯科医・薬剤師との連絡体制を整える | 連絡・検診等スムーズに行うことができた。 | | A | ・評価できない | | 引き続き連携を取っていききたい。 | |
| | 学校給食 | 学校給食の衛生管理に万全を期す | 学校給食の衛生管理をマニュアルに基づき厳正に行う | 学校給食の衛生管理をマニュアル通り推進する | 実施できた。 | | A | ・評価できない | | を心がけたい。 | |
| ⑥ 特別支援教育 | 校内支援体制 個別支援教育 | 特別支援教育の校内体制を整備し、個別の教育ニーズに対応した指導・支援を充実する。 | 校内委員会の開催や校内研修等を充実させる。 | 校内特別支援教育検討会や校内研修会の実施についてスケジュール化を図る。 | スケジュール化を図っていない。 | | C | ・評価できない | | 校内研修については早期に計画を立て、全職員に研修できるようにスケジュール化を図りたい。 | |
| | | | 個別の指導計画及び教育支援計画を作成する。 | 個別の指導計画をスケジュール化する。 | スケジュール化を図ったが、実施できていない。 | p31 | C | ・評価できない | | 個別の始動計画・教育支援計画を立てたが、生徒の現状にそぐわない面があり、修正していく必要がある。 | |
| | | | | 個別の教育支援計画作成をスケジュール化する。 | スケジュール化を図ったが、実施できていない。 | | C | ・評価できない | | | |
| | 交流学習 連携 | 交流学習、合同学習の実施を促進する。 | 特殊学級の生徒が通常の学級で学ぶ機会を確保する。 | 市内の特殊学級との合同学習に積極的に参加する。 | 交流学習を計画的に実施する。 | 交流学習を実施することができた。 | | A | ・評価できない | | 引きつづき計画的に実施していききたい。 |
| | | | | | 合同学習を計画的に実施する。 | 合同学習を実施することができた。 | | A | ・評価できない | | 引きつづき計画的に実施していききたい。 |
| | | 医療、福祉等の関係機関との連携を深める。 | 医療、福祉等の関係を強化する。 | 医療、福祉等の関係機関との連絡体制を整える。 | 連絡体制を整える計画を立てることができたが、実際に連絡体制をとってはな | | B | ・評価できない | | 連絡体制を整えていききたい。 | |
| | | 近隣の特殊教育諸学校との連携を図る。 | 近隣の特殊教育諸学校との連絡体制を整える。 | 連絡体制を整えることができた。 | | A | ・評価できない | | 引き続き連絡体制を整えていききたい。 | | |

| 評価項目 | 領域 | 中期目標 | 短期目標 | 成果・取組指標 | 自己評価 | | | 外部評価 | | 改善策 |
|-----------------|----------------------------|---------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|--|-------------|---------|---------------------------|--|-----|
| | | | | | 達成状況 | 資料 | 評価 | 考察 | 評価 | |
| ⑦ 組織運営 | 学校運営 校務分掌 | 適切な校務分掌により組織的で円滑な学校運営を図る | 校務分掌ごとの目標を設定し、達成に向けた具体的な取組を推進する | 各分掌別の校務処理状況をスケジュール化する | 重点としているものは当初の計画に沿って実施している | p 3 | C | ・評価できない | 重点的に取り組むものについて、共通理解をしスケジュール化を図り取り組む | |
| | | | | 教職員の自己評価で、肯定的評価が70% | 校内評価で70%は達成しているがさらなる改善も必要である | p 4 | B | ・評価できない | | |
| | 服務規律 | 教職員の厳正な服務規律の確保に努める | 服務規律確保に関する研修を徹底する | 研修計画を立てる | 職員会、職員研修で計画を作り実施している | p 47 | B | ・評価できない | 研修計画を見直しながら引き続き研修に取り組む | |
| | 学級経営 | 学級経営の充実に努める | 学級経営のPDCAサイクルを生かす | 学級経営案を作成する | 作成し見直しながら学級経営を行っている | p 33 ~46 | B | ・評価できない | 学期ごとに評価しながら充実に努める | |
| | 経理 | 学校経理の厳正な執行・管理を徹底する | 経理の適正な処理と予算の効率化を図る | 定期的な執行状況を確認する | 毎月、学期毎に執行状況を担当者が行っている | | B | ・評価できない | 定期的な執行状況を確認する | |
| 情報管理 | 個人情報の保護・管理を徹底する | 個人情報保護に関する対応を徹底する | 個人情報保護についての研修を行う | 年度当初基本的な確認を行った。研修は今後実施予定である | p 47 | B | ・評価できない | 個人情報についての研修の充実に努める | | |
| ⑧ 研修 | 校内研修 | 校内での研修を計画し、教師力を高める | 校内研修の充実に努める | 校内研修の推進を計画を立てる | 校内研修の推進計画を立てたが、十分な時間の確保ができなかった。 | p 3 | C | ・評価できない | ・十分な校内研修の時間の確保ができるように、年度当初から進めていきたい。 | |
| | | | 校内における研究授業や教材研究により指導方法の工夫改善を積極的に行う | 校内研究の推進計画を立てる | 校内研究の推進計画を立て、実施した。 | p 14 | B | ・評価できない | ・今後も校内研究を、指導法の工夫改善を中心に積極的に行っていきたい。 | |
| ⑨ 保護者、地域住民等との連携 | 学校運営への参画及び協力 | 保護者・地域との連携を強化し、学校運営に対する参画や協力を得る | 学校評議員やPTA役員から学校運営について意見・提言を得る | 学校評議員会、PTA役員会を定期的に開催する | 実施できた | | A | ・評価できない | 保護者、学校評議員会、外部評価委員会と連携し学校の実態把握を行い共に課題解決に向けて協同して取り組むように努める | |
| | | | 保護者・地域の意見や要望を学校経営に生かす | 保護者アンケートや地区懇談会を実施する | 保護者アンケート年2回予定 7月に地区懇談会は実施した | p 10 ~11 | B | ・評価できない | | |
| | | | PTAや地域団体との結びつきを強化する | PTAの各種会合を見直す地域団体との連絡会を強化する | 会合は部会によって参加意識に差がある。地域団体との連携どうあるべきか検討すべき。 | | C | ・評価できない | | |
| | 情報提供 | 学校教育の内容や計画を広く情報発信する | 学校だより、学年だより等を定期的に発行する | 学校だより・学年だよりで学校・学年の行事予定を毎月提供する | 行事予定表は月1回発行、学校便りも月1回実施できるよう努めた | p 10 ~13 | B | ・評価できない | 学校だより等で積極的に学校の情報を発信し学校の取組についての理解を図る | |
| | | | 部活予定を発行する | 部活予定を発行する | 各部でほぼできた | | B | ・評価できない | | |
| ホームページを開設する | | 準備を計画する | 準備をすすめている | | | C | ・評価できない | | | |
| 学校間の円滑な接続に関する工夫 | 学校種間の連携を図り、児童生徒の人間力の向上を目指す | 小中が連携し、学校間の円滑な接続に努める | 小中連絡会を年数回実施する | 1学期、3学期実施している | | B | ・評価できない | 幼小中高の連携をさらに発展させ、内容の充実に努める | | |
| | | 中高が連携し、学校間の円滑な接続に努める | 中高連絡会、授業交流を実施する | 授業交流は市教育研究会での活動を中心に行っている | p 3 | B | ・評価できない | | | |

| 評価項目 | 領域 | 中期目標 | 短期目標 | 成果・取組指標 | 自己評価 | | | 外部評価 | | 改善策 |
|---------|---------|-------------------|----------------------|---------------------------|---------------------------------|----|--------|--------------------|----|---------------------------------|
| | | | | | 達成状況 | 資料 | 評価 | 考察 | 評価 | |
| ⑩ 施設・設備 | 効果的な活用 | 施設・設備の有効活用に努める | 余裕教室、特別活用の有効活用をする | 活用について検討する | 少人数授業で年間を通して活用している | | B | ・評価できない | | 引き続き有効活用を検討する |
| | 安全・維持管理 | 施設・設備の安全・維持管理に努める | 随時、安全点検と補修に努める | 定期的実施する計画を立てる | 毎月15日の安全点検等を実施している | | B | ・評価できない | | 引き続き安全点検に努める |
| | 学習・生活環境 | 教育環境の充実を目指す | 学習に必要な機器の整備と環境美化に努める | 機器の整備計画を立てる 美化活動計画を立てる | 予算立案時に計画している 生徒会と連携し毎月実施している | | C A | ・評価できない ・評価できない | | 予算を有効に活用し教育効果を図る。生徒会と連携し美化活動を行う |

※1 江津市の共通項目は、領域部分における次の4項目とする。

- ① 確かな学力の育成 ② ふるさと教育の推進 ③ 安全対応能力の向上 ④ 学校間の連携

※2 評価項目と領域との関連は、各学校の重点目標により異なってよい。

※3 この評価シートは基本形であり、学校によって項目等の追加・修正を行って使用する。

※4 評価の例は、次のように考えられますが、評価指標・学校の実状等に合わせて変更して下さい。

A 90%以上、B 70~90%、C 50~70%、D 50%以下 又は A 良い、B まあまあ良い、C あまり良くない、D 良くない